



伊澤 伸一 議員

道路埋設物との更新時期調整を

埋設物設置者と情報を密にする



道路標識が樹木で見えなくなった町道

超高齢化の進展により、社会保障費など義務的経費は増え続ける中、暮らしと経済を支える道路などのライフラインは、安全に維持していかなければならない。

問 町が管理する橋梁の、点検結果は。
答 建設部長▼276橋を5年1サイクル

ルで点検。令和3年度には63橋を近接目視で実施し、5橋が判定区分3の早期措置段階と判定された。

問 早期措置段階の5橋の改修計画は。
答 広田川の改修に合わせて施工が1橋、その他4橋は令和8年までに改修予定。

問 台帳漏れ橋梁がないか、一斉点検を。
答 農道管理者とも情報交換し、見直しをかける。

問 道路照明等の点検はどうしているか。
答 令和3年までに全ての道路照明灯を目視点検した。

問 案内看板などの占用户にも、点検を周知すべきと思うが。
答 事故被害防止のため、工作物の管理者に周知する。

問 令和6年度から、愛知県は街路樹の管理を改めるが、町は。
答 安全性、維持費面からも低木等への転換も選択肢の一つとして検討する。

問 河川愛護作業など、住民参加の活動用に貸与する自走式草刈

機を導入しては。

答 ラジコン自動式草刈機を土木課親切班に導入し、貸与の範囲や対象施設を今後検討する。

問 コスト削減等のため、舗装工事の際には、上下水道など道路埋設物との更新時期調整など、道路工事の一体的マネジメントを行う考えは。
答 町長▼道路地下埋設物設置者と情報を密にし、システムのなりすくマネジメントを行う。

計画管理にPDC A手法活用を

検証して継続的な改善が重要

行財政運営のために多くの計画がある。行政計画の、進捗管理を問う。

問 部門別行政計画の達成状況の把握と、町民にどのように伝えるか。
答 副町長▼所管課で進捗状況を把握し、ホームページ等で知らせている。

問 すべて計画の進捗、評価が報告されているか。
答 すべての公表は難しいが、できる範囲で報告する。

問 計画の進捗管理をPDC A手法を活用して改善、実行へと結んでいけば、よい行政ができると思うが。
答 各所管課で構成した委員会や、協議会等の委員の意見も求めている。達成状況を評価・検証し、継続的な改善を行うことが重要と考えている。



いわもと ちほ 議員
岩本 知帆

キッズページ充実の考えは

システム構築方法を検討



町のホームページで効果的な情報発信を。

問 公式LINEの導入の考えは。

答 企画部長▼研究し、前向きに検討。

問 キッズページ充実の考えは。

答 ふるさと幸田町に対する関心を持ち、郷土愛を育む一助にもなると考え、システム構築方法を検討したい。

問 AIチャットボットの利用状況は。

答 ホームページの閲覧は、月2万件中1%未満ときわめて低い。

問 情報のアップデートはどのように行っているか。

答 質問内容を所管に照会し回答を得て、月に1回程度実施。

問 対象者に合ったデザインやレイアウトをどのように意識して、作成しているか。

答 各担当の考えで作成。

問 広報活動の専門アドバイザーや勉強した職員間の知識の共有は。

答 所属部署全体で共有できる仕組みづくりを検討。

急用時の子どもの預け先は

ファミリーサポートの利用を

安心して出産子育て出来る環境を問う。

問 公立保育園の受け入れ月齢は。

答 住民子ども部長▼おおむね10か月。

問 今後、受け入れ年齢の見直しは。

答 受け入れ態勢も踏まえつつ、検討。

問 町の待機児童数は。

答 令和4年10月1日現在、0歳8人、1歳1人、2歳1人。

問 待機児童解消の為、保育施設の増加の予定は。

答 令和5年に2園の地域型保育事業施設が開設計画。

問 現在の一時保育の状況は。

答 生後6か月から就学前までの、町内在住の保育所に入所していない児童を、家庭の事情により預かる。利用数は増加傾向。

問 一時保育の利用方法は。

答 初回は子ども課に申し込み、以後は保育園で面接し翌月の利用予約をする。

2回目以降は保育園に申し込む。

問 急用時に子どもを預ける場所は。

答 一時保育は現状いっぱい。

上六栗にあるファミリーサポートセンターを案内している。

問 ファミリーサポートの利用状況は。

答 職員体制などを見極めながら可能性を探っていきたい。

問 生後3か月未満児の保育は可能か。

答 依頼会員と援助会員のマッチングが出来れば可能。当日依頼は難しいこともある。

問 急な用事が出来た時でも利用可能か。

答 依頼会員と援助会員のマッチングには比較的余裕がある。



ファミリーサポートセンターの一時預り